

令和6年度秋期 システム監査技術者試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2024,12,26

10月13日（日）に行われた令和6年度秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、応用情報技術者試験の分析コメントをお知らせします。

■システム監査技術者試験（AU）

〔令和6年度秋期 システム監査技術者試験 統計情報〕

応募者	3,118 人
受験者	2,278 人
合格者	381 人
合格率	16.7 %

令和6年度秋期のシステム監査技術者試験の合格率は16.7%で、前回の16.4%から微増ですが、平成21年から始まった現在の試験制度では、前回に続き最も高い合格率となりました。

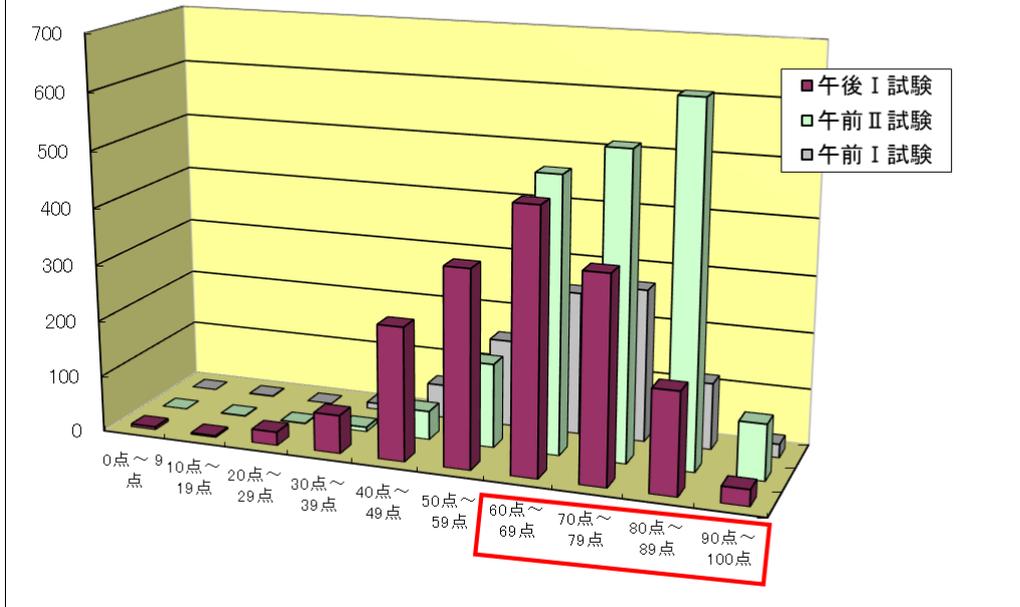
次に発表された得点分布の分析とグラフを示します。

〔令和6年度秋期 システム監査技術者試験 スコア分布〕

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	5	D 72	
10点～19点	1	1	3	C 112	
20点～29点	0	1	24		
30点～39点	11	8	68	B 458	
40点～49点	60	51	236		
50点～59点	155	149	347		
60点～69点	254	487	462	A 381	
70点～79点	271	538	361		
80点～89点	118	629	179		
90点～100点	24	99	29		
計	894	1,963	1,714	1,023	381
対前試験比率		219.6%	87.3%	59.7%	37.2%
午前免除者（概数）	1,384	60.8%			

合格者数	381	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ 60点以上合計	667	74.6%	286
午前Ⅱ 60点以上合計	1,753	89.3%	1,372
午後Ⅰ 60点以上合計	1,031	60.2%	650
午後Ⅱ-A 評価	381	37.2%	0

令和6年度 システム監査技術者試験 得点分布



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で1,384人 (60.8%) おり、受験者の約4 割の人が午前 II からの受験となっています。

この午前 I 試験で基準点60 点以上取ることができた人は667人で受験者の74.6%でした。前回の試験では56.6%だったので、かなり上がりました。問題が平易だったことが理由と思われます。

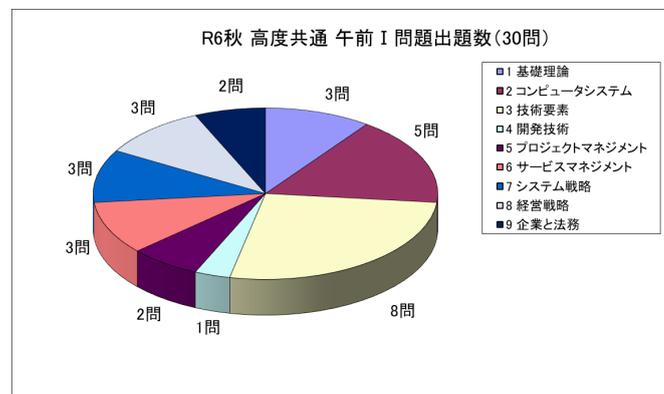
午前 II 試験で基準点以上の方は1,753人 (受験者の89.3%) で前回の92.2%から少し減っています。午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は60.2%で、前回の54.6%から増えています。一方、午後 II で合格点のA評価だった人は37.2%で、前回試験の41.1%と比べてこちらは減少しました。

■ 令和6年度秋期 システム監査技術者試験の出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題)) 30 問出題 / 30 問解答, 50 分

高度試験で共通して出される午前 I 試験の 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) の午前試験 80 問の中から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%)、マネジメント系 5 問 (17%)、ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。

午前 I 試験には免除制度がありますが、高度試験の約 4～5 割の人が午前 I 試験から受験しています。今回の午前 I 試験で 60 点以上取れた人は 74.6%でしたが、これまで 60 点以上の得点で午前 II 試験の採点に進む人は 5～6 割で、出題範囲が広いため試験問題を難しく感じる人がかなり多いといえます。難しい問題が多いときには 4 割程度の人しか通過できないときもあったので、最初の午前 I 試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつけていく必要があります。



・今回の午前 I 試験は、6 割以上が過去問題でしたが、オーソドックスな問題が多く、前回より解きやすかったといえます。

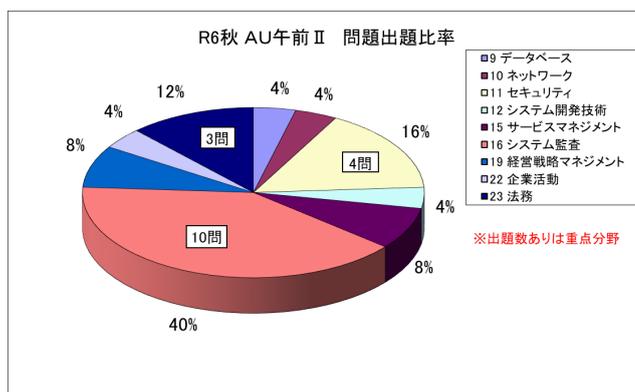
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は3問で前回の4問と大きく変わっていません。

〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕

監査の専門分野からの出題数は前回と同じ10問で、このところ同じ出題数が続いています。システム監査の事例では、ネットワークやセキュリティの技術を理解している必要があるものが多いので、不足している知識を日頃から身につけていく学習が必要です。また、レベル4で出題されるセキュリティの問題は前回と同じ4問出題されました。

過去のシステム監査技術試験問題で出題されたものは6問で前回の10問から減っています。複数の年度から選ばれていますが、令和4年度の試験からの3問が最も多かったです。

システム監査基準が令和5年4月に改訂されましたが、今回の試験からこの改訂版の内容で出題されました。今後も、新しいシステム監査基準／管理基準、および各基準の新しいガイドラインについて、ひとつお読み理解してください。



〔午後Ⅰ試験〕

午後Ⅰ問題の出題内容は、問1がDevOpsを適用したシステム開発・運用の監査、問2がシステム監査報告書の作成、問3がITサービス管理システムの監査でした。問1の内容が新しく、問2はこれまで出題されていない極めてオーソドックスな内容でした。また、問3はすべての設問が空欄の穴埋めというこれまでにない形式でした。

〔午後Ⅱ試験〕

午後Ⅱ問題の出題内容は、問1がIT投資のガバナンスに関する監査、問2は情報システムの外部サービスを活用した運用プロセス監査でした。どちらの問題も過去に類似のテーマで出題されたことがあります。今回の問題では記述する内容が幅広くなり、記述する視点も異なったものになっています。

itec